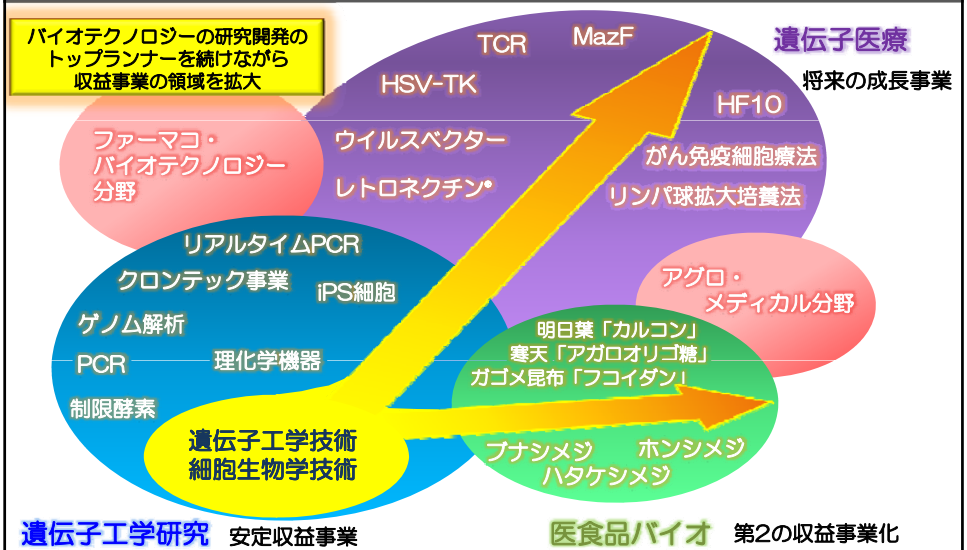
TaKaRa

2012年3月期　決算説明会

業績レビューと今後の重点施策

タカラバイオ株式会社
平成24年 5月16日

タカラバイオの基本戦略



連結業績

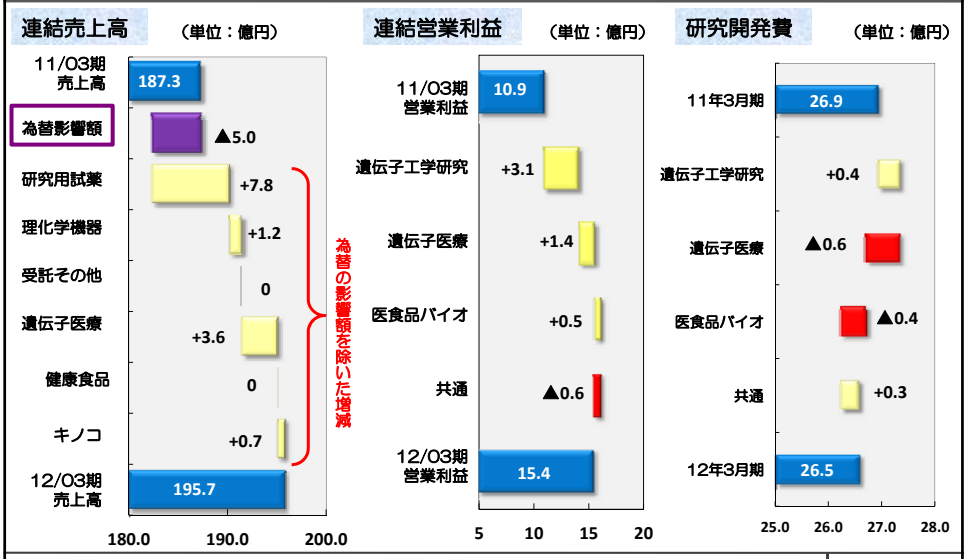
12/03期

（単位：百万円）

	12/03期	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	19,578	▲21	▲0.1%	+840	+4.5%
売上原価	9,194	+126	+1.4%	+335	+3.8%
売上総利益	10,383	▲148	▲1.4%	+505	+5.1%
販売費及び一般管理費	8,836	▲295	▲3.2%	+55	+0.6%
営業利益	1,547	+147	+10.5%	+449	+41.0%
経常利益	1,829	+179	+10.9%	+553	+43.4%
当期純利益	1,023	+122	+13.7%	+417	+68.9%

売上高・営業利益・研究開発費（連結）＜前期比増減＞

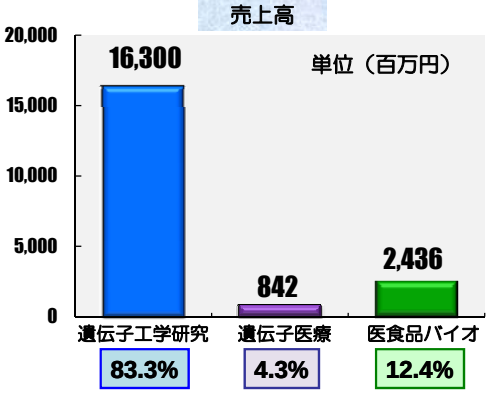
12/03期



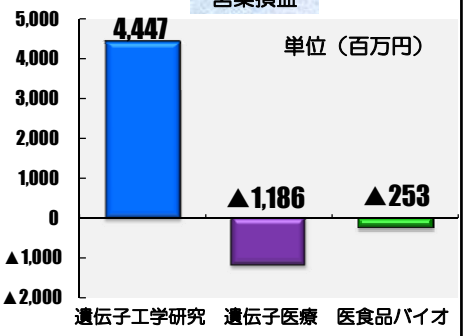
セグメント情報（連結）

12/03期

売上高



営業損益



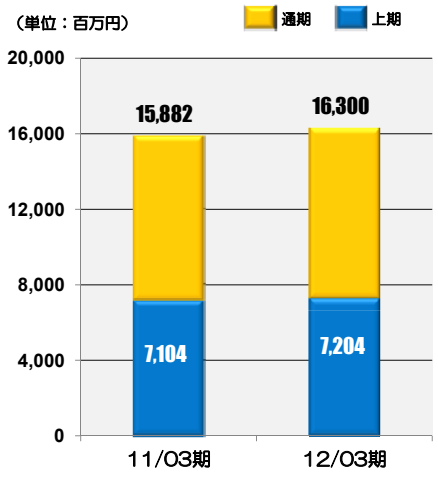
単位（百万円）

	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	9,596	396	391	-	10,383
研究開発費	843	1,374	244	196	2,658

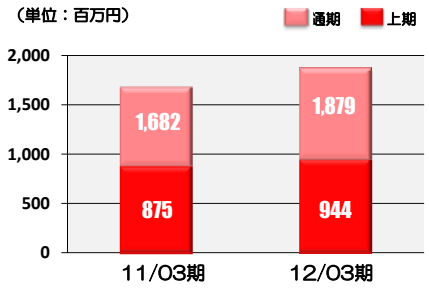
セグメント別売上高（連結）
遺伝子工学研究事業（１）

12/03期

連結売上高



中国国内　売上高



12/03期 実績

・研究用試薬：為替の影響（▲4.4億円）
　を克服し、前期比+3.3億円
　（103%）
・理化学機器：前期比+1.1億円
・受託サービス：前期並み

セグメント別売上高（連結）
遺伝子工学研究事業（２）

12/03期

研究用試薬の外部売上高

（単位：百万円）

	11/03期 実績	12/03期 実績	前期比	為替の影響（前期比）	前期比（為替の影響除く）
日本	5,141	5,262	+120	-	+120
米国	2,988	2,846	▲ 142	▲285	+143
欧州	1,229	1,254	+24	▲58	+83
中国	1,413	1,618	+204	▲79	+284
韓国	405	433	+27	▲22	+50
インド	-	101	+101	-	+101

クロンテック社製品の外部売上高

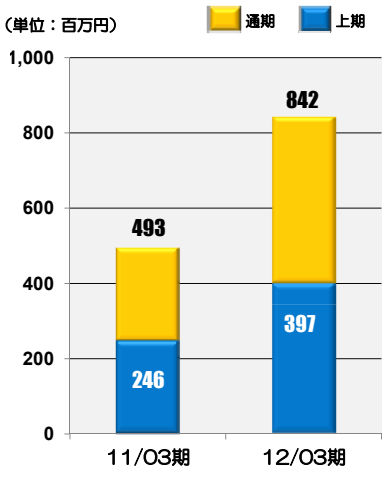
（単位：百万円）

11/03期 実績	12/03期 実績	前期比	為替の影響（前期比）	前期比（為替の影響除く）
4,081	3,851	▲229	▲260	+30

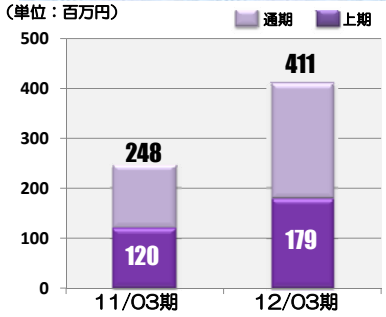
セグメント別売上高（連結）
遺伝子医療事業

12/03期

連結売上高



中国における培地・バッグの売上高



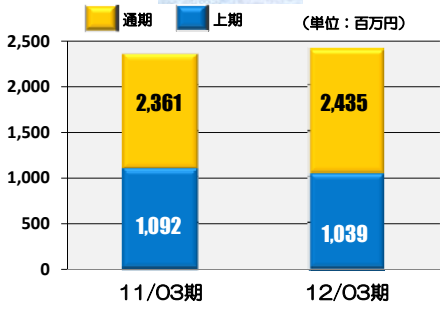
12/03期 実績

・中国での細胞医療用培地・バッグの売上増加
（前期比+1.6億円）
・がん免疫細胞療法の技術支援サービスの売上増加
（前期比+1.4億円）

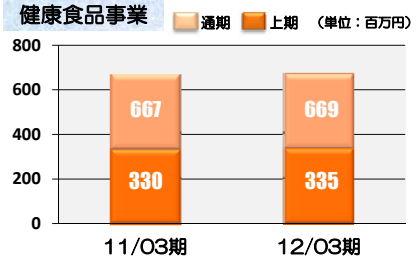
セグメント別売上高（連結）
医食品バイオ事業

12/03期

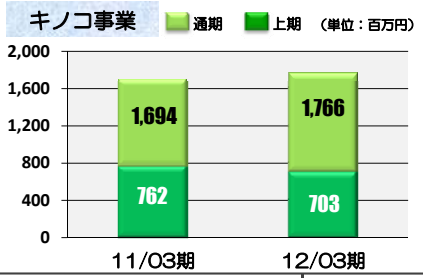
連結売上高



健康食品事業



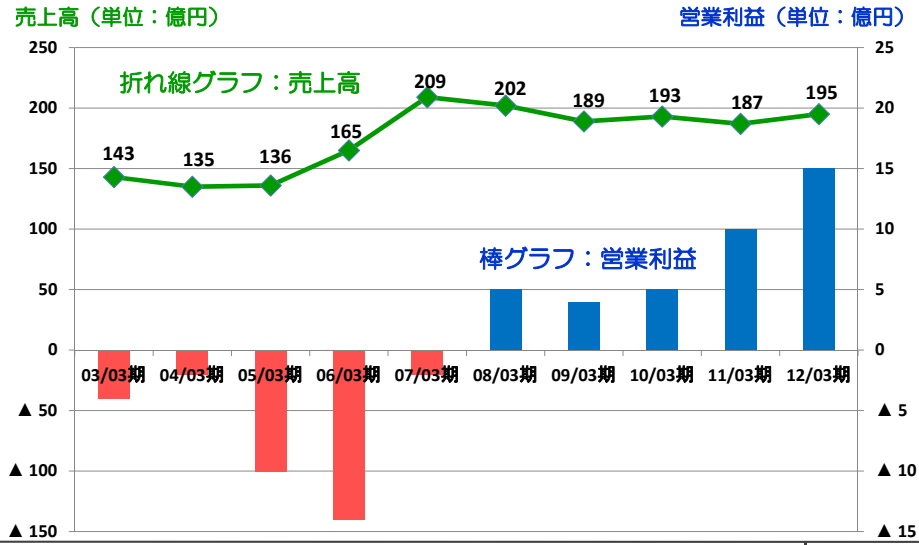
キノコ事業



12/03期 実績

・残留農薬検査事業の終了による影響
　▲0.8億円
・フコイダン関連製品の売上増加
・キノコ事業：前期比+0.7億円
　（ハタケシメジ・ホンシメジの売上増加）

売上高・営業利益（連結）の推移



中期経営計画

2015年3月期までの業績目標

各事業における施策

タカラバイオグループ連結業績目標

（単位：百万円）

	13/03期予算	14/03期計画	15/03期計画
売上高	21,100	22,700	23,600
営業利益	1,600	1,700	1,800
経常利益	1,850	1,900	2,000
当期純利益	1,100	1,200	1,300
研究開発費	3,083	3,533	4,085

セグメント別営業利益

	13/03期予算	14/03期計画	15/03期計画
遺伝子工学研究	4,694	4,947	5,283
遺伝子医療	▲1,332	▲1,515	▲1,793
医食品バイオ	0	65	112
共通	▲1,762	▲1,796	▲1,801

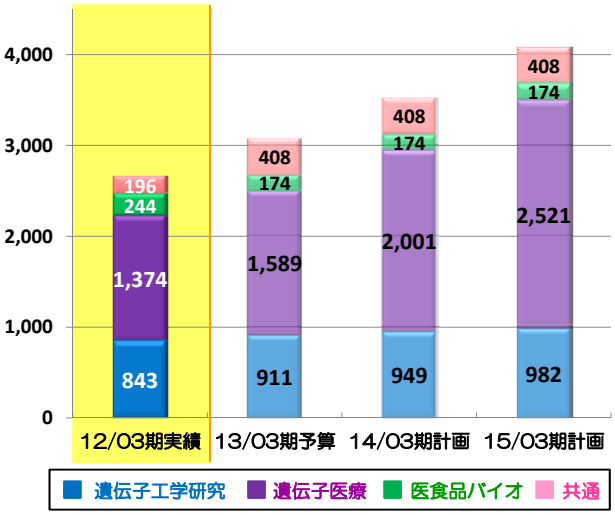
セグメント別 売上目標

（単位：百万円）

	13/03期予算	14/03期計画	15/03期計画
研究用試薬	12,630	13,485	14,059
理化学機器	2,537	2,548	2,551
受託	2,050	2,150	2,250
その他	303	283	249
遺伝子工学研究	17,522	18,467	19,110
遺伝子医療	1,016	1,597	1,797
健康食品	667	687	707
キノコ	1,893	1,963	1,984
医食品バイオ	2,561	2,651	2,691
売上高　合計	21,100	22,700	23,600

研究開発費（連結）

（単位：百万円）



グループ研究開発体制の強化

日本：タカラバイオ
米国：クロンテック
中国：宝生物工程（大連）

タカラバイオ株式会社
バイオ研究所の再編

・トップサポート部門（共通部門）
・中長期の事業の柱となり得る
　新規事業・研究開発テーマの
　創造・推進を担当
・ファーマコ・
　バイオテクノロジー分野
・アグロ・メディカル分野

遺伝子工学研究事業の施策（１）：事業拡大の方向性

1 遺伝子工学から細胞生物学へ

○細胞生物学分野の新製品開発強化
○技術的シナジーのある企業等との提携推進

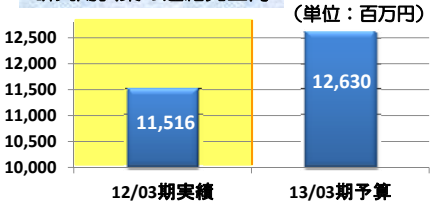
2 研究支援から産業支援へ

○Applied Field分野におけるカスタム
（オーダーメイド）製品の開発強化
・食品製造品質管理用の微生物検出試薬
・衛生検査所向けの検査試薬
○中国、インド、韓国での
Applied Field分野の強化

3 基礎研究支援から先端研究支援へ

○高速シーケンス関連試薬の開発

研究用試薬の連結売上高

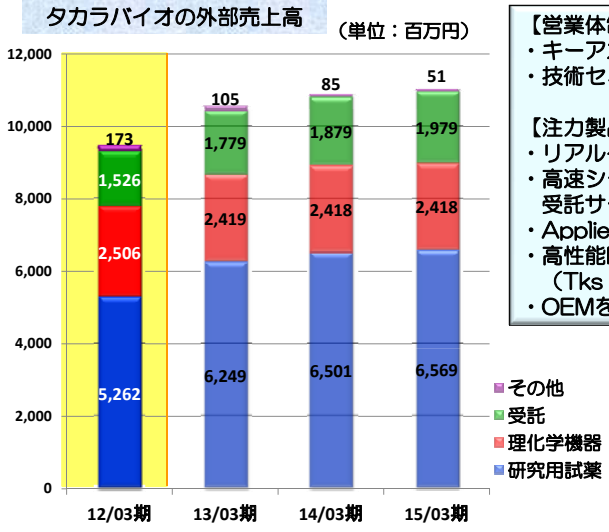


13/03期の研究用試薬の連結売上高
前期比+11億円の内訳

・日本：+9.8億円
・インド：+1.7億円
・中国：+1.3億円
・米国・欧州：
為替の影響で前期比▲1.8億円

遺伝子工学研究事業の施策（２）：日本

タカラバイオの外部売上高



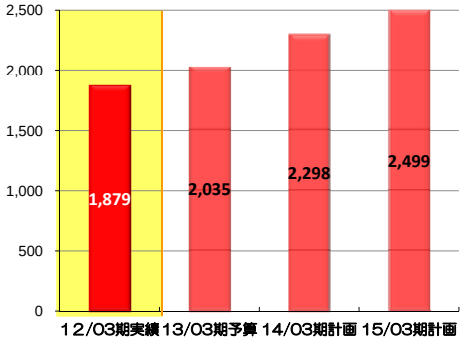
【営業体制の強化】
・キーアカウント営業チームの編成
・技術セミナーを毎週実施

【注力製品・分野】
・リアルタイムPCR関連製品
・高速シーケンス関連製品・
受託サービス
・Applied Field
・高性能PCR酵素
（Tks Gflex™ DNA Polymerase）
・OEMを含む導入商品の増強

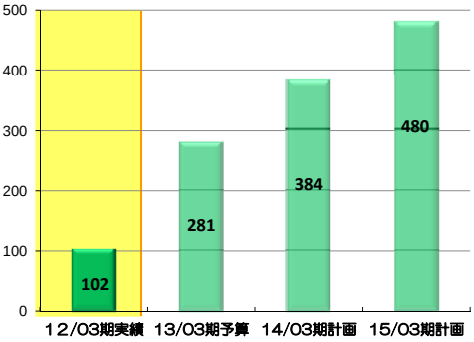


遺伝子工学研究事業の施策（３）：中国・インド

中国での外部売上高　（単位：百万円）



インドでの外部売上高　（単位：百万円）

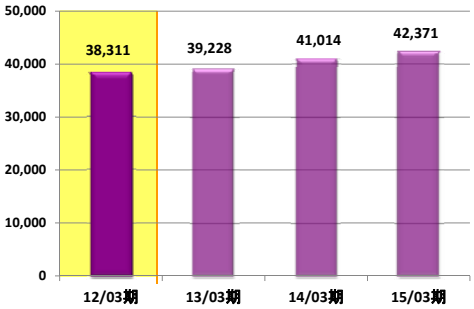


○ 毎年10%程度の増収を継続
○ PCR、リアルタイムPCR、クローニング、遺伝子発現解析製品の拡販
○ 新たにApplied Field分野に注力

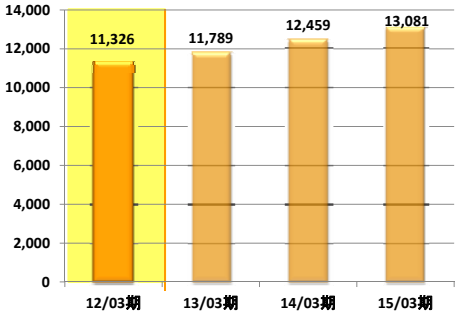
○タカラバイオ・クロンテック製品の拡販を行うタカラバイオDSSインド社を2011年6月に設立
○ バルク酵素の分注・QC機能も立ち上げ、インド市場向け試薬製造も行う

遺伝子工学研究事業の施策（４）：米国・欧州

クロンテック社の外部売上高　（単位：千米ドル）



ﾀｶﾗﾊﾞｲｵﾖｰﾛｯﾊﾟ社の外部売上高　（単位：千ユーロ）

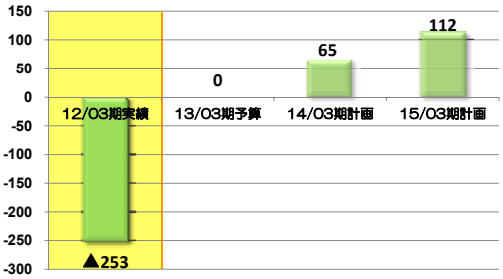


○タンパク質間相互作用解析用試薬、高速シーケンサー用 試薬等の拡販。
○ Advanced Cell Biology分野及び次世代シーケンサー関連試薬の開発
○ e-コマースの導入やテリトリー営業マネージャーの増員

○ 主要市場における直販体制の強化（イギリス、ドイツ）
○ Webinar等の有効活用
○ オンライン注文システムの導入

医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益　（単位：百万円）



1. 13/03期の営業黒字化
2. 機能性食品素材のエビデンス強化（アグロ・メディカル的アプローチ）
3. B to B市場での売上拡大

・ガゴメ昆布フコイダン：
　免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
・アガロオリゴ糖：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
・明日葉カルコン：メタボリックシンドローム改善作用
・トゲドコロ/ヤムスゲニン：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
・ボタンボウフウ：血流改善作用、排尿改善作用
・きのこテルペン：抗腫瘍作用



医食品バイオ事業の施策（２）：キノコ事業

4. 新規キノコ大量栽培技術投入による生産量の増大

・ハタケシメジ・ホンシメジの歩留まり向上により、
　最大生産量の増大を計画

5. 生鮮キノコのロジスティクス体制の強化と売上拡大

・瑞穂農林㈱敷地内に自社冷蔵倉庫を設置し、専用トラック便にて配送
・温度管理の徹底により品質の向上、単価アップを目指す

		12/03期実績	13/03期予算
ハタケシメジ（瑞穂農林）	売上高	766百万円	917百万円
	販売量	約1,480トン	約1,620トン
ホンシメジ（タカラバイオ）	売上高	301百万円	336百万円
	販売量	約146トン	約164トン
ブナシメジ（きのこセンター金武）	売上高	137百万円	136百万円
	販売量	約260トン	約260トン







遺伝子医療事業の通期見込と施策（１）

1 がん免疫細胞療法支援サービス事業

・支援サービスの売上高：
424百万円（前期比+96百万円）を計画

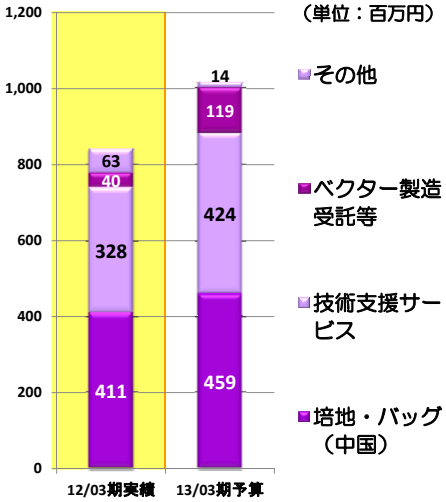
2 中国での培地・バッグの販売

・中国でのがん免疫細胞療法の需要の増加：
459百万円（前期比+37百万円）を計画

3 ファーマコ・バイオテクノロジー分野

・当社の技術・ノウハウを利用したバイオ医薬品等の創薬支援事業の強化
・臨床研究用のベクター等の製造受託の拡大
・バイオ医薬品の安全性試験サービスの拡販（英国Vitrology社と提携）

遺伝子医療事業の連結売上高



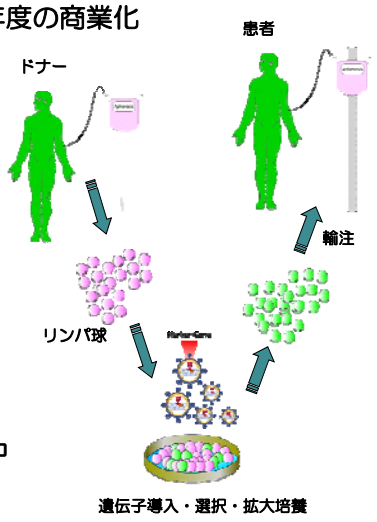
遺伝子医療事業の施策（２）HSV-TKプロジェクト その①

HSV-TK遺伝子治療 目標：2017年度の商業化

①ドナーリンパ球輸注（DLI）療法
（再発白血病）
国立がん研究センターで第Ⅰ相臨床試験を実施中
・3例目（第1コホート）に遺伝子導入細胞を投与（2012年4月）
・残りの予定症例数：５例

細胞投与数（体重1kg当り）	第1コホート 1,000万	第2コホート 5,000万	第3コホート 1億
投与済症例数	2	1	0
残り予定症例数	0	2	3

②ハプロAdd-back（造血器悪性腫瘍）
国立がん研究センターで臨床研究実施中
・2例目の遺伝子導入細胞を投与



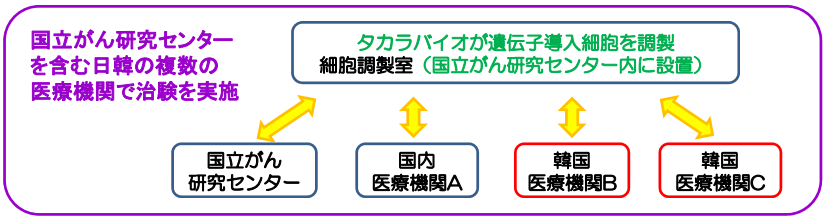
遺伝子医療事業の施策（3）HSV-TKプロジェクト その②

日韓共同治験（ドナーリンパ球輸注（DLI）療法）　目標：2013年度に開始

背景：日本では臍帯血移植が広く行われているが、韓国では
ミスマッチ移植（ハプロ移植）の治療が優先して行われてており、
HSV-TK遺伝子治療の対象患者数が多い

治験計画：多施設共同試験
第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験（第Ⅰ相：安全性、第Ⅱ相：安全性及び有効性）

対象疾患：HLA不適合移植後の非寛解もしくは再発急性白血病（20-30例）

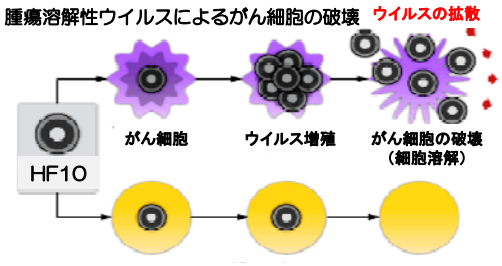


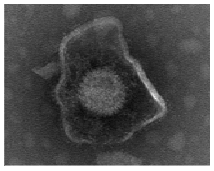
遺伝子医療事業の施策（4）HF10プロジェクト

腫瘍溶解性ウイルスHF10　目標：2018年度の商業化

○ピッツバーグ大学、
オレゴン健康科学大学、
ネブラスカ大学、
メアリークローリー
治験センターで
第Ⅰ相臨床試験を実施中
・11例にHF10を投与
・残りの予定症例数８例
・2012年度に第Ⅰ相臨床
試験終了予定

○三重大学で臨床研究を
開始



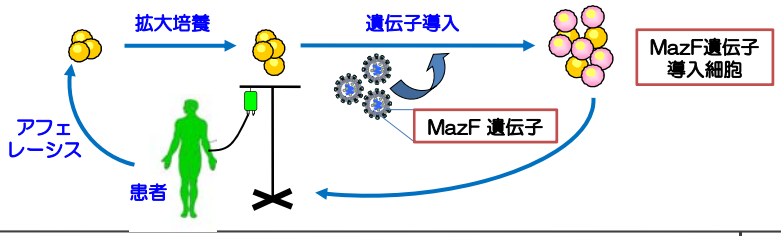


HF10

遺伝子医療事業の施策（5）MazFプロジェクト

MazF遺伝子治療　　目標：2022年度の商業化

- 2012年3月に米国FDAにIND申請（新薬臨床試験開始届）
- FDAが治験開始を了承
- ペンシルベニア大学、ドレクセル大学と共同で、米国にてHIVを対象に第Ⅰ相臨床試験を2012年度に開始、2015年度の終了を目指す。
- 予定症例数：12例
  第1コホート（6例）：HAART療法を受けているHIV感染患者
  第2コホート（6例）：3か月以上HAART療法を受けていないHIV感染患者

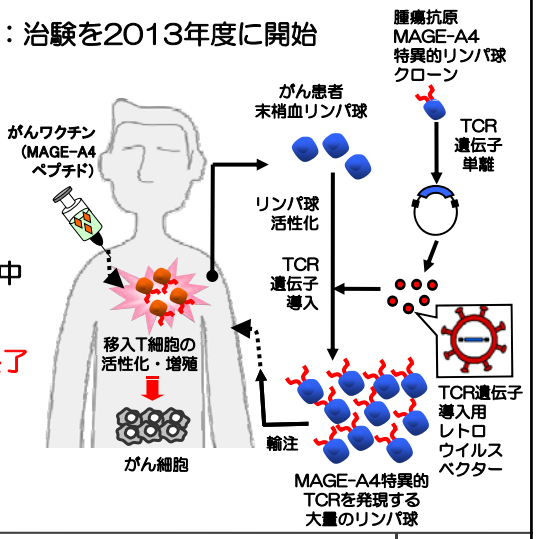


遺伝子医療事業の施策（6）TCRプロジェクト

TCR遺伝子治療　　目標：治験を2013年度に開始

①次世代ベクターを用いた治験
（siMA24(RN-T)）
確認申請作業中

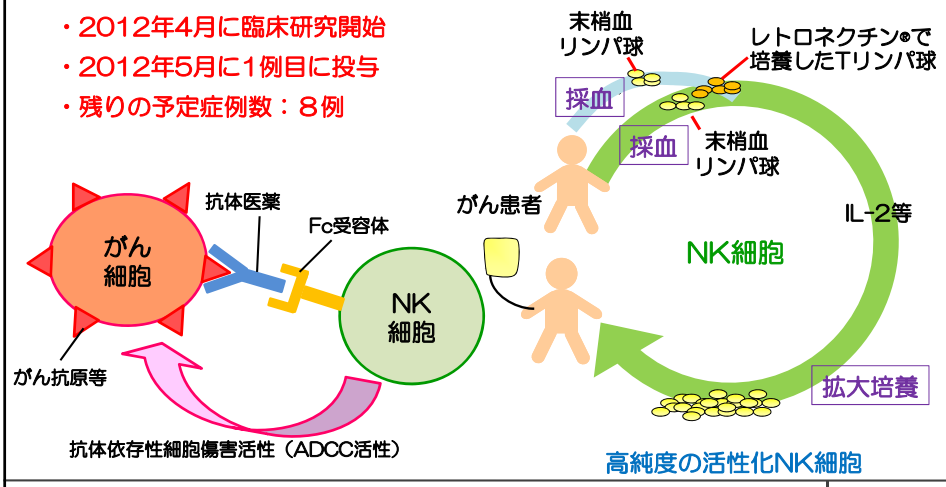
②臨床研究（wtMA24）を実施中
- 実施施設：三重大学医学部
- 6例目の遺伝子導入細胞投与終了
- 残りの予定症例数：３例



遺伝子医療事業の施策（7）細胞医療プロジェクト

NK細胞療法　　目標：臨床研究を2013年度に終了

- 2012年4月に臨床研究開始
- 2012年5月に1例目に投与
- 残りの予定症例数：8例



遺伝子医療事業の臨床開発スケジュール

	前臨床試験／臨床研究	第Ⅰ相臨床試験	第Ⅱ相臨床試験	第Ⅲ相臨床試験	商業化
HSV-TK遺伝子治療	国内・DLI療法（2012年度終了予定）				2017年度
	日韓共同治験・第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験（2013年度開始予定）				
	国内・臨床研究・ハプロadd-back（2012年度終了予定）				
HF10	米国（2012年度終了予定）				2018年度
MazF遺伝子治療	米国（2015年度終了予定）				2022年度
TCR遺伝子治療	国内・臨床研究・wtMA24（2012年度終了予定）				
	国内・臨床研究・siMA24(RN-T)（2012年度開始予定）				
	国内・第Ⅰ相臨床試験・siMA24(RN-T)（2013年度開始予定）				
CAR遺伝子治療	国内・臨床研究（2013年度開始予定）				

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：事業開発部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

- 12/03期 セグメント別売上高（連結）
- 会社別業績（11年3月期～13年3月期）
- セグメント別業績（12年3月期～15年3月期）
- 遺伝子工学研究事業外部売上高（13年3月期）
- 13年3月期予算　セグメント情報（連結）
- 遺伝子治療・細胞医療の臨床開発

【参考資料】

12/03期 セグメント別売上高（連結）

（単位：百万円）

	12/03期	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	11,516	▲114	▲1.0%	+338	+3.0%
理化学機器	2,628	+45	+1.8%	+114	+4.6%
受託	1,780	▲21	▲1.2%	+2	+0.1%
その他	375	+44	+13.3%	▲36	▲8.9%
遺伝子工学研究	16,300	▲46	▲0.3%	+418	+2.6%
遺伝子医療	842	+7	+1.0%	+349	+70.8%
健康食品その他	669	+4	+0.7%	+1	+0.2%
キノコ	1,766	+12	+0.7%	+71	+4.2%
医食品バイオ	2,435	+17	+0.7%	+73	+3.1%
売上高合計	19,578	▲21	▲0.1%	840	+4.5%

【参考資料】

会社別業績

（単位：百万円）

	従業員数**	11/03期実績 売上高	11/03期実績 経常利益	12/03期実績 売上高	12/03期実績 経常利益	13/03期予算 売上高	13/03期予算 経常利益
タカラバイオ（単体）	358	13,653	927	14,082	916	15,443	1,359
瑞穂農林	24	654	▲67	830	3	846	24
ﾀｶﾗﾊﾞｲｵﾌｧｰﾐﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	0	31	▲3	9	▲0	14	4
きのこセンター金武	7	136	28	137	22	136	17
Takara Bio Europe *	27	1,233	133	1,259	112	1,178	94
宝生物工程(大連) *	497	2,536	808	2,879	1,127	2,903	1,063
宝日医生物技術（北京） *	34	619	66	743	78	778	48
Takara Korea Biomedical *	28	523	79	533	74	530	67
DSS Takara Bio *	26	-	-	102	▲1	281	44
Clontech Laboratories *	127	3,965	▲138	3,797	50	3,702	83
	計 1,128						

** 従業員数は、2012年3月31日現在

* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績

【参考資料】

セグメント別業績（１）

（単位：百万円）

	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
＜12/03期 実績＞					
売上高	16,300	842	2,436	▲1	19,578
売上総利益	9,596	396	391	-	10,383
販売費及び一般管理費	5,148	1,582	645	1,459	8,836
内、研究開発費	843	1,374	244	196	2,658
営業利益	4,447	▲1,186	▲253	▲1,459	1,547
＜13/03期 予算＞					
売上高	17,522	1,016	2,561	-	21,100
売上総利益	10,152	469	578	-	11,200
販売費及び一般管理費	5,458	1,801	577	1,762	9,600
内、研究開発費	911	1,589	174	408	3,083
営業利益	4,694	▲1,332	0	▲1,762	1,600

【参考資料】

セグメント別業績（２）

（単位：百万円）

	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
＜14/03期 計画＞					
売上高	18,467	1,597	2,635	-	22,700
売上総利益	10,822	710	641	-	12,174
販売費及び一般管理費	5,874	2,226	576	1,796	10,473
内、研究開発費	949	2,001	174	408	3,533
営業利益	4,947	▲1,515	65	▲1,796	1,700
＜15/03期 計画＞					
売上高	19,110	1,797	2,691	-	23,600
売上総利益	11,310	827	688	-	12,827
販売費及び一般管理費	6,027	2,620	576	1,801	11,026
内、研究開発費	982	2,521	174	408	4,085
営業利益	5,283	▲1,793	112	▲1,801	1,800

【参考資料】

遺伝子工学研究事業　外部売上高

研究用試薬の外部売上高

（単位：百万円）

	12/03期 実績	13/03期 予算	前期比	為替の影響（前期比）	前期比（為替の影響除く）
日本	5,262	6,249	+986	-	+986
米国	2,846	2,738	▲ 107	▲174	+66
欧州	1,254	1,178	▲75	▲130	+55
中国	1,618	1,751	+133	▲51	+184
韓国	433	433	0	▲33	+33
インド	101	278	+176	▲12	+188

クロンテック社製品の外部売上高

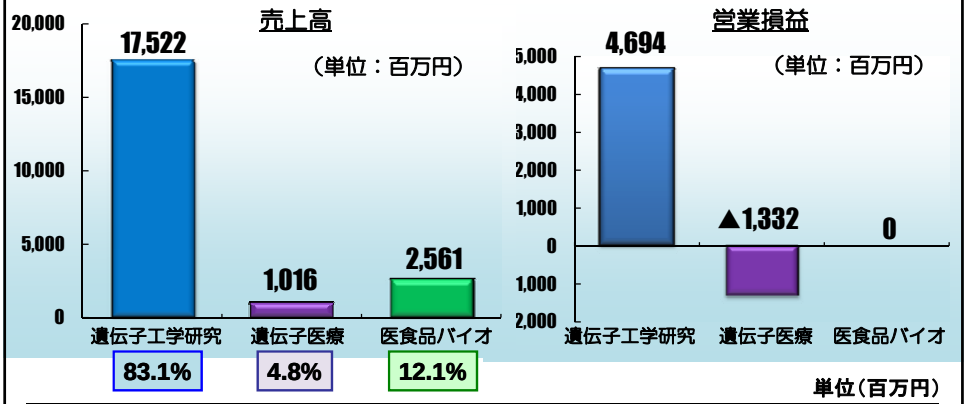
（単位：百万円）

12/03期 実績	13/03期 予算	前期比	為替の影響（前期比）	前期比（為替の影響除く）
3,851	3,879	+28	▲224	+252



【参考資料】

13/03期予算　セグメント情報（連結）



単位（百万円）

	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	10,152	469	578	-	11,200
研究開発費	911	1,589	174	408	3,083

【参考資料】

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（１）

	対象疾患	提携先	現状・今後
HSV-TK遺伝子治療（ドナーリンパ球輸注療法）（治験）	再発白血病	国立がん研究センター	・2008年10月に第Ⅰ相臨床試験開始 ・2012年度に終了予定 ・日韓共同治験（第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験）を、2013年度に開始予定。
HSV-TK遺伝子治療（ハプロタイプ一致造血幹細胞移植後のドナーリンパ球追加輸注療法）（臨床研究）	造血器悪性腫瘍	国立がん研究センター	・2009年12月に臨床研究開始 ・2014年度に終了予定
HF10（がん治療薬）（治験）	頭頸部がん等の悪性固形腫瘍	ピッツバーグ大学等	・米国第Ⅰ相臨床試験実施中、2012年度に終了予定
HF10（がん治療薬）（臨床研究）	頭頸部がん等の悪性固形腫瘍	三重大学医学部	・2012年2月に臨床研究開始 ・2015年度に終了予定
MazF遺伝子治療（治験）	HIV	ペンシルベニア大学等	・米国での第Ⅰ相臨床試験を2012年度に開始 ・2015年度に終了予定

【参考資料】

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（２）

	対象疾患	提携先	現状・今後
TCR遺伝子治療・wtMA24（臨床研究）	食道がん	三重大学医学部	・2009年8月に臨床研究を開始 ・2012年度に終了予定
TCR遺伝子治療・siMA24(RN-T)（臨床研究、治験）	食道がん	三重大学医学部等	・第Ⅰ相臨床試験を2013年度に開始予定 ・2012年度に臨床研究を開始予定
TCR遺伝子治療・siWT24(RN-T)（臨床研究）	造血器腫瘍脳腫瘍	三重大学医学部等	・2012年度に臨床研究を開始予定
CAR遺伝子治療（臨床研究）	非ホジキンリンパ腫	自治医科大学	・2013年度に臨床研究を開始予定。
レトロネクチン*誘導Tリンパ球療法（臨床研究）	食道がん、卵巣がん等	三重大学 京都府立医科大学	・2008年3月に臨床研究を開始 ・2011年度に終了（三重大学） ・2012年度に終了予定（京都府立医大）
レトロネクチン*誘導Tリンパ球療法（臨床研究）	肝細胞がん	京都府立医科大学	・2010年7月に臨床研究を開始 ・2015年度に終了予定
NK細胞療法（臨床研究）	消化器がん	京都府立医科大学	・2012年4月に臨床研究を開始 ・2013年度に終了予定